

C97
うぐがキ帳

アソビ 4000



097
うぐがキ帳

0254
4000A



「すりつぶすわよ」
「ほ…ほひひひひ！」

(あの時は文字通り肝を冷やしたわ…)
俺の人生最大のピンチと
いってもいい場面
だったけど…

俺のペット：アプスガ
このテイファちゃんを捕えて
くれたもんね♪
エアリスちゃんとか
いら可愛い男は逃しちゃったけど…
アイツら神羅に追われているから
ここには簡単に戻れない…

(今のうちにテイファちゃんを俺好みのスケベなメス豚に変えちゃうのよね)
この魔晄…
魔晄中毒者が別人格を自分の中に作り上げてしまう症状を利用して…

(俺を愛する俺好みの人格に作り変えられちゃうように改良したのよね)
…あのクラウド大好きな強気なテイファちゃんも一か月もこの魔晄漬けにすれば…)



「コルネオ様♡
お待ちしております♡」

「この三か月はコルネオ様のおチンポ妄想でオナニしていたメスフタに…
遅いおチンポご奉仕させてくださあい♡」

(ホし♡俺にぞつこんのメス豚の出来上がり♡)

「ほひり！いいのり、かわいいのり♡
しまった筋肉があった体も俺好みの脂肪つまったデブ体型！揉み心地も最高♡
んっ♡♡♡」
「あひいん♡ダメ♡コルネオさまあ♡
イツちやうつ♡♡コルネオさまにご奉仕する前にひい♡んひい♡
チンパコしてほしくなっちゃいます♡」
「そっだの、お楽しみは取っておかないと♡」

んっ♡♡♡

「んじゆるる♡んふっ♡んふう〜ん♡
いががでひゆか♡コルネオひやまあ♡」
「ほひ〜、それ以上やったらティファちゃんに
出す子種が…ほひいい♡」

「んじゆるる♡んふっ♡んふう〜ん♡」

「んふう♡でもコルネオ様の金玉の臭い嗅いでると
舌とまらなひのお♡コルネオさまあ♡愛してますっ♡」
「フヒククラウド君には見せられないね♡この姿は」
「く…く…う…と…っ…そう…だ…わたい…
クラウド達と…私クラウドを…好…
ズブウウー!!」

「ひぎああああ!!」
「危なかつた…まさか人格戻るなんて…
慌てて原液さしちゃったけど…
ティファちゃんなら大丈夫だよ」
「あが☆んがあ…あぶ…」

—— 一か月後
「ゴルネオ!
貴様がティファを監禁しているのは
調査済みだ…さあ!
死にたくなければティファを返せ!!」



「ほひり、怖い
助けて…もし
アイツを倒したら
結婚して
子作りして
あげるよ♡」
「ほ…本当ですか?
ああ…♡
考えただけで
マン汁溢れるう♡」



「ゴルネオ様と結婚…子作り…
うひひっ…ヤバあ…♡
軽イキ止まらない♡」

「てい…ティファ? なのか??
その格好…体…は……」



「アナタ：誰？名前は同じみたいだけど人違いよ
私は蜜蜂の館でコルネオ様専属のザーメン便器
：ドスケベなこととしていつぱいして
コルネオ様の子供産みまくるのが夢の
変態メス豚のティファアよ！」

「ほひー！そういう訳だから…
諦めて貰えるかね？元カレのクラウド君」
「何言ってるんですか？私はずっと
コルネオ様ラヴ♡二筋ですう♡
命もオマンコも捧げますう♡♡」
「ほひ…そうだったね…うんうん♡」

「てい…ティファア…嘘だろ…」
「さよなら…」
「勘違い男の金髪君」
「ポコポコッ！ポコオ!!!」



「コルネオさまああ♡んっんっ♡
もつとチキュー♡♡
ドスケベベロチキューしてえん♡」

「んっんっ♡
チキュー♡
ドスケベ♡
ベロチ♡
キュー♡
して♡
えん♡」

「ほひっ♡やつと三緒になれたねティファちゃん♡
「ああん♡もつと早く便器書になりたかったです♡」
「ほひっ♡ういの♡俺もさっとしたかったんだけど
さつきの男達が懸念材料だったからねえ…これで
心おきなくティファちゃん孕ませられるよお」
「おひっ♡んひいん♡よく…わかりませんけどお
孕ませてもらえるなら何でもいいのお♡おひよおお♡
コルオネひやまの…んひっ♡…チンポ汁…やべっ♡
子宮にあるだけでイクツ♡いぐうううっ♡♡」
「ほひっ♡これから俺の都台のいい
メス豚として未永くよろしくね♡ティファあ♡」
「はひい♡ティファをコルネオ様の都台いい…
ティツシユのように使い捨ててくれて構いません♡」

「コルネオ様に飽きられても
愛してもらえよう
体も頭も壊れるまで
弄り倒してご奉仕させて
いただきますうう♡ああ♡
しあわせええ♡」

「んっんっ♡
チキュー♡
ドスケベ♡
ベロチ♡
キュー♡
して♡
えん♡」

□奥付□

■発行日 2019.12.31
■誌名 C97ラクガキ帳
■著者 武田弘光
■発行 真珠貝
■印刷 株式会社 緑陽社
■Email pearl_shell@wing.ocn.ne.jp
■TWITTER https://twitter.com/shinjugai